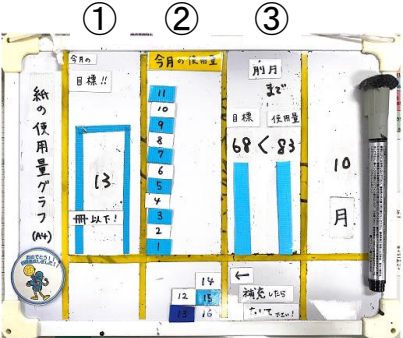



令和3年度内部環境監査優秀な取組一覧

所属	評価	取組	効果
文化生涯学習課	① ②	<p>[省エネ] ・文化会館たづくりにおける、空調熱源機器を中心とした設備更新にESCO (Energy Service Company) 事業を導入することで、省エネルギー化の推進、二酸化炭素排出量の削減、光熱水費等の削減を図る。(令和3年工事、令和4年5月運用開始。年間30%以上のエネルギー削減の予定)</p>	<p>・ESCO事業により、空調熱源機器、自動制御設備、電気設備(照明のLED化)、館内エレベーター等の設備更新を行うことで、省エネルギー化の推進、二酸化炭素排出量の削減、光熱水費等の削減を図ることができる。(公募プロポーザル方式により選定した事業者からは、年間30%以上のエネルギー削減が図られるとの提案があった。)</p> <p>・基本計画において、文化会館たづくりの空調熱源改修は令和3年度から10年間のリース、エレベーターの改修は令和3年度に工事として位置づけられていたが、ESCO事業として実施することで、空調熱源改修の総事業費用内でエレベーター改修及びLED化等についても見込めるとともに、契約期間10年間のESCOサービス料として事業費を平準化し支払うことで財政負担の抑制につながる。</p> <p>・本事業は公募プロポーザル方式で事業者を選定しており、選定基準の一つに市内事業者の活用提案を定めている。市内事業者の積極的な活用により、市内の経済活性化を図ることができる。</p>
	② ③	<p>[EMS] ・課内のパソコンのデスクトップに環境方針のデータを保存し、環境研修で周知し、いつでも確認できるようになっている。</p>	<p>・アイコンをいつも目にする事となり、いつでも確認できるため、環境配慮の取り組みの意識付けになっている。</p>
農政課	①	<p>[省エネ] ・自転車を最大限活用し、自動車を極力使用しない取組を行っている。業務上市内に点在する農地の現状を把握しなければならないが、自転車を活用することで、目的地までの情報収集を併せて行うことができている。 業務上のメリットと環境配慮をうまく組み合わせることができており、継続していける取組となっている。</p>	<p>・燃料消費量やCO2排出量を減らすことで、地球温暖化防止につながる。 ひとつの取り組みから職員の意識が、大きく変化し、プラスチックの排出や電気の消灯など、それ以外の面でも環境に配慮した取り組みを行う姿勢がみられるようになった。</p>
	① ②	<p>[省資源・ごみ減量] ・これまで紙ベースでの申請書であったものをメールでのやり取りに切り替えている。これにより、紙の消費量削減になるとともに、来庁していただくことが不要となり、窓口対応の業務量も削減することができた。</p>	<p>・農家が書類提出のために、窓口に来庁する必要がないため、事務作業の効率化につながっている。また、申請書を何度も印刷する必要がないため、資源消費量の削減にも大きく寄与している。</p>
	①	<p>[省資源・ごみ減量] ・全庁的な紙の使用量削減のために、課で発行しているチラシ類の作成部数を適正部数に変更するとともに、関係各所から送付送付されてくる資料の必要部数についても適正な部数を依頼するように取り組んだ。</p>	<p>・紙の使用量を削減し、省資源・ごみ減量に寄与している。</p>

スポーツ振興課	① [省エネ] ・執務室内の窓に遮光用ネットを取り付け、直射日光を軽減し冷房効率の上昇を図った。	・庁舎の省エネ及び職場環境の向上に寄与している。
子ども家庭課	①② [省資源・ごみ減量] ・窓口で使用される印刷物(記入例など)について、反復使用できるようクリアファイルに入れて使用している。これにより、紙使用量の削減、事務作業の効率化を図っている。	・令和2年度は窓口において8,690件の手続きを受け付けており、窓口で案内のたびに記入見本を印刷する必要がなくなったことから、作業の効率化につながっている。また、コピーも不要となるため、資源消費量の削減にも大きく寄与している。
児童青少年課	①② [省エネ] ・電灯等のスイッチの設置個所に退庁時のチェック事項を記載した一覧表を掲示し、退庁時における電灯の切り忘れやPC・プリンタ等の各種機器の電源の切り忘れ、窓の閉め忘れ等がないよう心掛けている。	・退庁時にチェックする項目を一覧化することで電源の消し忘れ等を防止し、更には環境負荷の低減を図っている。
高齢福祉担当	② [省資源・ごみ減量] ・紙の使用量削減への取組促進・意識向上を目的に、毎月の紙の使用量と目標を見える化したボードを掲示(プリンター横) 【ボード説明】 ①今月の目標 過去3年の月毎の平均使用量のマイナス1 ②今月の使用量 プリンターに用紙1冊(500枚)を補充する毎に、補充した者が使用量を積み上げていく ③前月まで 前月までの通算(年間)の使用量と目標値を比較 	・毎月の目標に対して、リアルタイムの使用状況を視覚で確認できるため、職員一人ひとりの意識向上に寄与できている。また、実際の作業が伴うため、職員の当事者意識の向上にも寄与できている。 併せて、『2in1』や『両面印刷』の積極的な活用を促し、引き続き、職員全員で紙の使用量削減に向けた取組を着実に推進していく。 
障害福祉課	② [省資源・ごみ減量] ・紙の使用量削減の取組 スキャナーの活用によるコピー枚数削減(審査会資料や認定調査資料をPDF化し、電子での資料共有を行っている。)	・コピー機をフロアで共有しているため、取組成果が用紙購入量の数字には表れないものの、年度当初に課内で目標を共有したことにより、課内での裏紙利用・電子決済の活用が広がっている。また、副次的な効果として、決裁や供覧の記録が電子化されることにより、資料を探す手間が省け、業務の効率化(時間外勤務の削減)にもつながっている。ファイリングする文書量を減らすことで、キャビネットの数を減らし、執務環境を改善する狙いもある。

保険年金課	① [省資源・ごみ減量] ・法定受託事務及び協力連携事務を行う国民年金業務において、受付した申請書類を日本年金機構に送付している。受付した内容等は、送付控えをコピーして紙保管していたが、令和元年度からスキャナーを導入し、データ保管している。併せて、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から郵送手続きを促進しているが、郵送内容控についても、基幹システム更改により追加された機能を活用してデータ保管するよう運用変更した。	・コピーカウント料の削減(データ保管開始前と開始後の年度平均比較:8,623円/月削減)及び資源消費量の削減(紙使用量約4,700枚/月削減)にも大きく寄与している。保管する用紙の購入量の削減のほか、保管スペースや文書引継書類量の削減にもつながった。
会計課	② [省資源・ごみ減量] ・使い済みのゼムクリップ、ダブルクリップ、輪ゴムなどの有効利用	・資源の無駄が減り、また、ある職場でそれらが足りなくなった場合でも、購入せずに済めば、経費の削減にもつながる。

計(件数)	12
-------	----

【評価】

- ① 環境への改善効果が大きいこと。
- ② 作業の効率化や経費・資源消費量の削減効果が大きいこと。
- ③ システムの推進に大きく貢献していること。